



令和4年度第2回 九州各県議会議長会議

8月24日、佐賀市で開催された「九州各県議会議長会議」に会長として出席しました。開会の挨拶として「有事と思われる今、九州が一つとなって行動していくことが大事。防衛・経済・食糧の安全保障について、国へ要望していく」と述べたあと、会議では、九州各県から提案された23の議案が審議され、今秋関係省庁等に要請する内容が決議されました。

カーボンクレジット勉強会

9月15日「2050年県内CO2排出実質ゼロ」の目標を達成し、持続可能な未来を実現するため、民間事業者、九州大学及び県執行部に集まっていたが、カーボンクレジットの勉強会を開催しました。豪雨災害からの復興を進める人吉球磨地域でカーボンクレジット事業を行う場合のアイデアも出るなど活発な勉強会となり、今後も連携して検討していきます。



故安倍晋三元総理国葬儀

9月27日、故安倍晋三国葬儀に参列しました。
平成28年熊本地震及び令和2年7月豪雨発災直後の現地対応や「できることは全てやる」という考えに基づくその後の力強い支援への感謝、そして、若手議員時代からの数々の思い出を振り返りながら、安倍元総理を偲びました。



第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」総合開会式

10月1日、栃木国体の総合開会式に参加しました。
開会式前の選手団結団式において「お世話になった方々への感謝を忘れないこと。そして、その感謝の気持ちに応えるには、勝つこと、自己新記録を更新すること、一生懸命に頑張ること。東京オリンピックの時に日本人選手が活躍し、日の丸が上がることで国民に勇気と感動を与えたように、皆さんの活躍が県民に勇気と感動を与える。」と激励の言葉を述べました。



熊本県よろず支援拠点訪問

10月4日、中小・小規模事業者の悩みごとの相談に対応する「熊本県よろず支援拠点」を訪問し、組織の概要や支援事例について、説明いただきました。
これからコロナ禍に資金を借りた事業者の返済が始まること、原材料費や物価の更なる高騰により経営が益々厳しくなること、事業承継の制度は充実してきたが周囲の話を聞いていると、実行は難しいと感じていることなどについて、意見交換を行いました。



9月定例県議会閉会

9月9日に開会した9月定例県議会は、10月5日に、予算関係4件、条例関係9件、意見書4件など、計47の議案が可決・同意・承認され、閉会しました。

閉会後の議長記者会見では、会期中に国葬や台風14号の熊本直撃などがあったことも含め、定例会全体を振り返り、その後、TSMC進出に係る県の対応、空港アクセス鉄道のルート選択、市房ダムの緊急放流等について、記者からの質問に答えました。

活動報告

医療的ケア児の医療型短期入所施設視察

7月5日、合志市に6月に開院した、医療的ケア児の宿泊が可能な医療型短期入所施設「穂づ こども在宅&心身クリニック」を視察しました。日常生活及び社会生活を送るうえで、恒常的に人工呼吸器による呼吸管理、喀痰吸引及びその他の医療行為が必要な医療的ケア児は、全国的に増加しており、介護を行う家族が安心して休息をとるためにも、このような施設は必要だと感じました。



熊本大学文学部「キャリア支援講義」

7月11日、若手人材育成の一環として熊本大学で開催された「キャリア支援講義」で講師を務めました。講義テーマは「政治と私を考える」「政治家が若い人たちに憧れられる存在にならなければ政治に興味を持つ若者は増えない。」「地方を良くすることで日本が良くなる。」「政治は、ダイナミックに物事を動かす力がある。」といった、政治家としての考えを語ったほか「人を批判ばかりするのではなく、自分が積極的に動き仕掛けていく精神が大事。そして、感謝の心、奉仕の心、調和の心を持つことを忘れないでほしい。」と述べました。



創業・開業支援「スタートアップ ハブ くまもと」視察

7月21日、今年4月に熊本市中心部に開設された「スタートアップ ハブ くまもと」を視察しました。多くの団体等が協力・連携・後援等を行っており、専門スタッフや関係企業の担当者が連携して、事業計画、資金調達、ビジネスマッチング、事業承継などの創業・開業に関する各種相談にスピード感をもって対応されており、多くの実績を上げておられました。



県商工会議所青年部連合会との意見交換会

7月21日、議長応接室において、県商工会議所青年部連合会との意見交換会を行いました。若手後継者等育成事業や災害支援活動等について、今後どのように進めるべきか意見を求められ、県議会議員として、そして商工会議所の先輩として、知識と経験を踏まえ意見を述べたほか、今後の県との連携など、活発な意見交換となりました。



内閣総理大臣と都道府県議会議長との懇談会

7月28日、総理官邸で開催された岸田総理大臣との懇談会に出席しました。会では、九州ブロックを代表して、国際情勢が緊迫している状況を踏まえ、外交交渉や島嶼防衛の強化、原子力発電所を守るための防衛力の向上を求めたほか、経済分野についても、TSMC及び関連企業の支援、産官学が連携した新ビジネスの創出、人材育成と人材確保の仕組みの構築、九州の縦横軸幹線道路ネットワークの整備等について要望を行いました。



地方消費者行政に関する国への意見書提出

8月4日、6月定例県議会で可決された「地方消費者行政に対する財政支援(交付金等)の継続・拡充を求める意見書」を提出するため、赤池内閣府副大臣を訪問し、手渡しました。地方の財政が厳しい状況にある中、消費者行政に関する国からの交付金が大きく減額されている状況であり、詐欺などの被害から消費者を守るためには、恒久的な財源措置と地域の実情に応じた予算の活用ができる仕組みを作る必要があると求めました。



熊本県産アサリの「熊本モデル」取組状況視察

8月10日、熊本県産あさりを守り育て、適正に流通・販売させる取組みについて、漁場での漁獲、荷揚げ、砂抜き・ネット詰め等を行う認定工場、販売協力店をそれぞれ視察しました。2度と不正を起こさせないための「熊本モデル」について確認するとともに、関係者からは担い手不足の課題についても話を聞くことができました。

